

令和5年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22057		事業名	地域の学び推進事業			
	事業手法	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()						
	施策体系	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実			予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	05:学びによる生きがいの創出				款	10:教育費
		施策の方向	01:地域課題の解決に生かせる学びの展開				項	05:社会教育費
		重点プロジェクト	01:「健都さぷり+」プロジェクト				目	03:公民館費
事業期間	H 29 年度 ~ R - 年度		主な根拠法令等		-			

評価分類	A1
------	----

担当部署	
部	教育委員会事務局
課	生涯学習課 社会教育G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	令和元年度から、かめやま人キャンパスを核として、学びの循環による人材育成を展開しており、持続的な地域づくりを推進するためには、地域課題に取り組む人材の育成が不可欠である。	市民	市民一人ひとりが学びを通して新たな生きがいを得るとともに、学びの成果を生かして地域課題の解決に取り組むことで、持続的な地域づくりを推進していく。	公民館においては、学びの入り口として、市民ニーズにあった多種多様な講座を実施する。かめやま人キャンパスにおいては、3年を1期とした実践的な学習カリキュラムを通して、地域課題に取り組む「かめやま人」の育成を行うとともに、「かめやま人」に対する活動の支援を行う。また、学びの情報の一元的な発信や、ICT等を活用した誰もが参加できる学びの環境の整備を行う。

③ 事業の実施状況 (P・D)	年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	事業計画	○かめやま人キャンパス講座の実施 ○公民館講座の実施 ○亀山学びのガイドブックの発行 ○学びの環境の整備		○かめやま人キャンパス講座の実施 ○公民館講座の実施 ○亀山学びのガイドブックの発行 ○学びの環境の整備		○かめやま人キャンパス講座の実施 ○公民館講座の実施 ○亀山学びのガイドブックの発行 ○学びの環境の整備		○かめやま人キャンパス講座の実施 ○公民館講座の実施 ○亀山学びのガイドブックの発行 ○学びの環境の整備	
	活動実績 (計画通り実施できたか)	中央公民館講座等及びかめやま人キャンパス講座を実施し、学びの機会を提供した。 ○中央公民館活動事業 ・中央講座の開催 82回 ・出前教室の開催 119回 ○かめやま人キャンパス展開事業 ・かめやま人キャンパス講座の開催 開催数 19回 かめやま人認定者 7人		中央公民館講座等及びかめやま人キャンパス講座を実施し、学びの機会を提供した。 ○中央公民館活動事業 ・中央講座の開催 132回 ・出前教室の開催 86回 ○かめやま人キャンパス展開事業 ・かめやま人キャンパス講座の開催 開催数 15回 (第1期:かめやま人認定者 17人)					
	計画額 予算額	事業費	16,400千円	16,300千円	16,400千円	15,800千円	16,500千円		16,500千円
		国・県支出金		0千円					
		地方債		0千円					
		その他	820千円	820千円	820千円	820千円	820千円		820千円
	一般財源	15,580千円	15,480千円	15,580千円	14,980千円	15,680千円		15,680千円	
	決算額	事業費		13,953千円		14,685千円			
		国・県支出金		0千円					
地方債			0千円						
その他			423千円		619千円				
一般財源		13,530千円		14,066千円					
①期間内計画額(R4-7)		65,800千円		②期間外計画額(R8-)		0千円		①+②総計画額	65,800千円

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	15,800千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	高等教育機関と連携した講座数	公民館及びかめやま人キャンパス講座の中で、 高等教育機関(大学や高校など)と連携した講座数	活動	講座	計画値	4	5	6	7
					実績値	3	5		
	生涯学習講座 受講者数	公民館・かめやま人キャンパス・行政出前講座等の受講者数	成果	人	計画値	10,000	12,000	14,000	16,000
					実績値	2,263	19,318		
					計画値				
					実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	A	第2期かめやま人キャンパスにおいて、学ぶ内容が深まっていくステップアップ方式のカリキュラム「まちのインフルエンサー」「まちのせんせい」養成講座の3年間で1期とする初年度に当たり、SNSを活用した情報発信方法や、Youtubeを使った指導方法等の講座を展開することにより、現代社会のニーズに即応した新しい学びの場を提供することができた。また、第1期「かめやま人」認定者を中央公民館講座の講師や、行政委員として登用するとともに、フォローアップ講座についても実施し、学びを通じた生きがいづくりと、地域課題の解決に取り組む人材の育成・確保につなげることができた。
	十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
市民	市民一人ひとりが学びを通して新たな生きがいを得るとともに、学びの成果を生かして地域課題の解決に取り組むことで、持続的な地域づくりを推進していく。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	かめやま人の今後の活動を支援するため、中央公民館や行政関連部署・各関係団体と連携するとともに、かめやま人キャンパスの諸活動の発信を行う必要がある。また、かめやま人のフォローアップ講座についても継続して行っていく必要がある。

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和6年度で対応する(した)もの かめやま人を対象にフォローアップ講座を開催するとともに、行政関連部署や各関係団体と連携しやすい土壌を形成するため、かめやま人キャンパスや中央公民館講座などの展開の他、かめやま人の活動を周知し活動の場を広げていく。	令和7年度以降で対応するもの かめやま人のフォローアップを継続して行うとともに、かめやま人キャンパスと公民館事業を基軸に様々な学びを提供し、各講座の充実を図る。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A	A		
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)		

【履歴】

1次評価者	教育委員会事務局 生涯学習課 社会教育GL 草川 正富
最終評価者	教育委員会事務局 生涯学習課長 落合 努